

政治家が本當の政治家としての仕事のためになります。多くの人に影響を与えるため、支援団体のメンバーとして活動するつもりです。

「みんなで」、「全ての市民」を指すこの言葉は、この構造で政治家を育むためにも役立つこと。多くの人々が、自分の地域で支援団員として活動する人が多いです。

この構造で政治家を育むために必要なことは、支援団員、選舉の準備をするために、団体内で議論や意見交換を行うことです。これが多くの政治家が育むための一環です。

「みんなで」、「全ての市民」のことを、政治家が育むための重要な要素です。私たちは、この構造で政治家を育むために、多くの人々が、自分の地域で支援団員として活動する人が多いです。

政治家が本當の政治家としての仕事のためになります。多くの人に影響を与えるため、支援団体のメンバーとして活動するつもりです。

政策実現するためには、政治家が本當の政治家としての仕事のためになります。多くの人に影響を与えるため、支援団体のメンバーとして活動するつもりです。

「新しい政治」始めるやん。

「迎合」する政治家たち／「批判」能力の政治家たち

「市民のため」法律のためと

高槻の未来のため、今こそ新しい政治が必要です。

30万枚のチラシに込めた
新しい政治の始まりへの願い。



上のチラシをご自宅のポストなどご覧になられたことがありますでしょうか。

これらは昨年9月末の活動開始以降に私が発行した2種類の政策チラシです。発行総数は約30万枚。これらのチラシを高槻市内すべてのご自宅まで、妻や友人たちと直接自分たちの手でお届けしてきました。これだけの活動をしてきたのは、今のシガラミだらけの政治を変える



ために特定の政党支援を受けていない私にとって、政策と想いを目一杯詰め込んだこのチラシだけが唯一の武器だからです。

これからも1人でも多くの人たちに、シガラミのない私だからこそ訴えることができる政策と想いを伝え続けていきます。1枚1枚のチラシが高槻の新しい政治の始まりにつながるはずだと信じて。



阿武山小・中学校
春日丘高校
立命館大学法学部

将来世代へのツケを遺さないために、
シガラミのない政治を実現する。

27歳／無所属 新人
たけなかけん
竹中健

1987年7月生まれ(27歳)。大学卒業後、IT企業に入社。その後政策コンサルティング会社にて全国の市長・議員の政策形成に携わる。2013年、西宮市議会議員(現 西宮市長)秘書に就任し、政治の現場で研鑽を積む。現在は「一部の利益を優先し、将来にツケを遺している政治」に危機感を感じ、地元である高槻に戻り、「住み良い街・高槻」の実現のために市政に挑戦中。
趣味は読書とサッカー(中高サッカーチーム)。実家の近くで、妻と二人暮らし。

街を歩き、街の声を聞き、政策を創りあげてきました。

昨年9月末に政治活動を開始して以降、高槻市内の全世帯(約15万世帯)への政策チラシのポスティングを2周してきました。配布業者は使わず、1日10時間・8kgのリュックサックを背負ってのポスティングは、体力的にも精神的にも正直大変な作業です。でも、**政党や団体の支援を受けていない私にできることは、自分の政策と想いを詰め込んだチラシを、自らの手でみなさまのお手元にお届けすることしかありませんでした。**



政策チラシを配布していく中で、**予想をはるかに超える多くの反響をいただきました**。「子供たちの未来のために頑張って欲しい!」「これまでには政治に興味がなかったけど、今回の選挙は行くよ!」「若い力で今の腐った政治を正してほしい!」そんな激励のお言葉から強い勇気をいただきました。

また、こうした活動を通して多くの方とお会いして、直接お話を聞かせていただくことができま

した。医師や教師などの専門家から、年配の方や主婦の方まで、老若男女様々な方と意見交換をさせていただき、みんなで知恵を絞りあい、「住み良い街・高槻」を推進するために必要な政策を創りあげてきました。



私は、**どの政治家よりも街を歩き、どの政治家よりも街の声を聞き、そして、どの政治家よりも真剣に高槻の未来を考えていくことをみなさまにお約束します**。高槻を愛する方々が築き上げてきたこの街を、子供たちに受け継いでいくために。

1 子育て

子育て世代の他市流出と高齢者増加により、高槻市は近隣市の中でも特に少子高齢化が進んでおり、今後子供が減っていく傾向にあります。高槻の未来のために、子育て支援施策は最も重要度の高い政策です。

子育て世代や子供たちの声が届きにくい政治の世界だからこそ、未来に責任を持つ世代の私が「本気の子育て施策」の実現のために行動し続けます。

- 増加する待機児童の解消のために、保育施設の整備と保育士の確保が必要
- 学童保育の時間延長を検討するべき
- 子育てを頑張る家庭のために、「子育て支援施策」を充実するべき

2 教育

子供がのびのび育ち、充実した教育を受けられる良好な教育環境を用意することが、公教育の本来やるべきことです。しかし、現在の公教育の現場では、子供たちにそうした環境を充分には与えられていません。

子供たちが「子供」でいられる時間は限られています。だからこそ、早急に教育現場の改革に取り組むべきです。

- 子供が安心して遊べる居場所作りとして「放課後校庭開放事業」を実現するべき
- 一人ひとりの子供に向き合う教育のために、教育現場体制の見直し・改革が必要
- 機動的で適正な人事を行うための教員人事権移譲の推進(府から市へ)



さらに詳しい政策の内容はWEBをご覧ください。
<http://takenakaken.net>



[ID] takenakaken
友達申請はお気軽にご申請ください。

3 福祉

- 余生の過ごし方の選択肢確保のために、介護施設充実と在宅療養を推進するべき
- ずっと「健幸」に住み続けられるように、健康促進事業を充実させるべき

4 防災・道路整備

- 集中豪雨に耐えうる雨水浸水対策をさらに進めるべき
- 新名神高速道路開通に備えた道路整備を国・府と連携して進めるべき

!
皆様のご意見をお聞かせ下さい!
「竹中の貸し出し」受付中!

■ 070-5508-9243
✉ mail@takenakaken.net

「なんで27歳で政治家を目指したの?」
「実際の竹中はどんな奴なんだろう。」
「チラシに書かれている内容について議論したい。」
など、貸し出しをご希望の方はご自宅でもカフェでも竹中をお呼びつけください。上記の連絡先にご連絡いただければ、私がお近くまでお伺いします。どんな内容でも、たとえお一人様でも、お気軽にご連絡ください!皆様にお会いできるのを楽しみにしています!



5 行財政改革

必要な政策を何から何まですべてできるだけの財源的な余裕は今の高槻にはありませんし、これ以上借金を増やし、将来世代へツケを遺すことも許されるはずがありません。一方で、ムダな事業や補助金など、既存の財政支出において、まだ見直しができるものもあります。高槻の未来に向けた前向きな政策を実現していくためにも、さらなる行財政改革を推進していくべきです。

- まずは補助金改革・事業仕分けなど既存の財政支出の見直しを行うべき
- 公共施設の維持・修繕費に関わる費用負担の計画策定を一層進めるべき

その他今回のチラシに関するご意見・ご感想など、どんな内容でもお気軽にご連絡ください!

■ 070-5508-9243

✉ mail@takenakaken.net

□ http://takenakaken.net

↑ 〒569-1037 高槻市東城山町2-12-102

発行:竹中健とあしたの高槻を考える会

